

平成21年4月期 第3四半期決算短信

平成21年3月9日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド
コード番号 2910 URL <http://www.rockfield.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 弘三
問合せ先責任者 (役職名) 経理グループマネージャー (氏名) 伊澤 修
四半期報告書提出予定日 平成21年3月17日

上場取引所 東 大
TEL 078-435-2800

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年4月期第3四半期の連結業績(平成20年5月1日～平成21年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年4月期第3四半期	36,124	—	1,493	—	1,509	—	789	—
20年4月期第3四半期	35,475	5.9	1,917	15.0	1,927	14.8	1,057	15.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年4月期第3四半期	59.42	—
20年4月期第3四半期	79.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年4月期第3四半期	25,133	20,233	80.5	1,523.46
20年4月期	25,838	20,077	77.7	1,511.65

(参考) 自己資本 21年4月期第3四半期 20,233百万円 20年4月期 20,077百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年4月期	—	18.00	—	22.00	40.00
21年4月期	—	18.00	—	—	—
21年4月期(予想)	—	—	—	22.00	40.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年4月期の連結業績予想(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,075	1.9	1,785	△28.9	1,820	△28.4	890	△32.7	67.01

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年4月期第3四半期 13,394,374株 20年4月期 19,394,374株

② 期末自己株式数 21年4月期第3四半期 113,001株 20年4月期 112,727株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年4月期第3四半期 13,281,476株 20年4月期第3四半期 13,281,751株
- ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(5) 平成 21 年 4 月期の個別業績予想（平成 20 年 5 月 1 日～平成 21 年 4 月 30 日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	47,886	2.1	1,862	△25.6	1,907	△25.0	902	△25.9	67.96

（注）個別業績予想数値の修正の有無 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱、株式市場の大幅な変動、企業収益の悪化や設備投資の縮小など、景気の急速な後退が見られました。

食品業界におきましても、景気の先行き不透明感、雇用情勢の悪化などにより、消費者の消費行動も慎重になっており、経営環境は一段と厳しいものとなってきております。

このような状況下、当社グループは第6次中期経営計画のもと、お客様のニーズに対応した付加価値の高い商品、サービスの提供に努めてまいりました。また、全社をあげて業務の効率化、コスト低減の取組みなどを行った結果、売上高は36,124百万円、営業利益は1,493百万円、第3四半期純利益は789百万円となりました。

ブランド別の売上は以下のとおりであります。

業態		平成21年4月期 第3四半期		平成20年4月期 第3四半期	
		売上	構成比	売上	構成比
R F 1		百万円	%	百万円	%
	サラダ	14,559	40.3	14,925	42.1
	フライ	6,112	16.9	5,166	14.6
	その他そうざい	6,245	17.3	5,489	15.4
	小計	26,917	74.5	25,581	72.1
神戸コロッケ		3,157	8.7	3,141	8.8
いとはん・三日坊主		1,343	3.7	1,375	3.9
R F 1 A s i a ・融合		838	2.3	875	2.5
そうざいや 地球健康家族	そうざい	1,363	3.8	1,528	4.3
	弁当・米飯	601	1.7	627	1.8
	小計	1,965	5.5	2,156	6.1
ベジテリア		1,506	4.2	1,795	5.1
D E L I C A r f -1		134	0.4	159	0.4
その他		261	0.7	389	1.1
合計		36,124	100.0	35,475	100.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産については、静岡ファクトリー第三棟建設の影響や税金・賞与等支払による現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて704百万円減少し25,133百万円となりました。

一方、負債においては、前連結会計年度末に比べて長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）の約定返済により325百万円減少したこと、未払法人税等が390百万円減少したことにより負債合計は4,899百万円となりました。

純資産においては、前連結会計年度末に比べて156百万円増加し20,233百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて2.8ポイント増加して80.5%、1株当たり純資産は1,523円46銭となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,467百万円減少し、4,591百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は1,144百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益1,469百万円、賞与引当金の減少額231百万円、売上債権の減少額372百万円、法人税等の支払額911百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,727百万円となりました。これは、主に静岡ファクトリー第三棟建設工事等の有形固定資産の取得による支出1,465百万円、投資有価証券の取得による支出114百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は876百万円となりました。これは、主に長期借入金の新規借入200百万円、長期借入金の約定返済525百万円、配当金の支払額531百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期の実績と計画の進捗状況及び今後の予想を併せて検討した結果、平成20年12月8日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。
3. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる損益に与える影響はありません。なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

（3）追加情報

（有形固定資産の耐用年数の変更）

平成20年度の法人税法の改正を契機として固定資産の使用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を9年から10年に変更しております。この変更により、従来の方によった場合と比べ、第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,811	6,158
売掛金	3,703	3,331
製品	57	54
仕掛品	53	53
原材料及び貯蔵品	164	177
その他	377	544
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,166	10,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,035	8,352
機械装置及び運搬具（純額）	592	477
土地	3,003	3,003
建設仮勘定	777	16
その他（純額）	800	707
有形固定資産合計	13,208	12,557
無形固定資産	256	304
投資その他の資産		
投資有価証券	377	403
差入保証金	575	581
長期預金	900	1,000
繰延税金資産	147	98
その他	510	581
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,502	2,657
固定資産合計	15,966	15,518
資産合計	25,133	25,838

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,029	1,224
1年内返済予定の長期借入金	628	750
未払法人税等	292	682
賞与引当金	288	520
その他	2,044	1,890
流動負債合計	4,283	5,068
固定負債		
長期借入金	489	692
その他	127	—
固定負債合計	616	692
負債合計	4,899	5,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	9,071	8,813
自己株式	△208	△208
株主資本合計	20,267	20,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9	82
為替換算調整勘定	△24	△15
評価・換算差額等合計	△34	66
純資産合計	20,233	20,077
負債純資産合計	25,133	25,838

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)
売上高	36,124
売上原価	15,927
売上総利益	20,196
販売費及び一般管理費	18,703
営業利益	1,493
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	5
保険配当金	7
その他	15
営業外収益合計	30
営業外費用	
支払利息	11
その他	3
営業外費用合計	14
経常利益	1,509
特別損失	
固定資産除却損	28
減損損失	12
特別損失合計	40
税金等調整前四半期純利益	1,469
法人税等	679
四半期純利益	789

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,469
減価償却費	1,078
減損損失	12
賞与引当金の増減額(△は減少)	△231
受取利息及び受取配当金	△7
支払利息	11
固定資産除却損	28
売上債権の増減額(△は増加)	△372
たな卸資産の増減額(△は増加)	10
仕入債務の増減額(△は減少)	△194
その他	256
小計	2,060
利息及び配当金の受取額	7
利息の支払額	△11
法人税等の支払額	△911
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△20
有形固定資産の取得による支出	△1,465
有形固定資産の売却による収入	20
無形固定資産の取得による支出	△55
投資有価証券の取得による支出	△114
長期前払費用の取得による支出	△100
差入保証金の回収による収入	28
差入保証金の差入による支出	△22
その他	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	200
長期借入金の返済による支出	△525
リース債務の返済による支出	△20
自己株式の取得による支出	△0
自己株式の売却による収入	0
配当金の支払額	△531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△876
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,467
現金及び現金同等物の期首残高	6,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,591

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日）

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年5月1日～平成20年1月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年4月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	35,475
II 売上原価	15,531
売上総利益	19,943
III 販売費及び一般管理費	18,025
営業利益	1,917
IV 営業外収益	33
V 営業外費用	23
経常利益	1,927
VI 特別損失	109
税金等調整前四半期純利益	1,818
法人税等	761
四半期純利益	1,057

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年5月1日～平成20年1月31日)

	前年同四半期 (平成20年4月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,818
減価償却費	1,092
売上債権の減少額(△増加額)	△46
棚卸資産の減少額(△増加額)	20
仕入債務の増加額(△減少額)	△164
その他	△225
小計	2,495
法人税等の支払額	△992
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,502
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
3ヶ月超の定期預金の満期と預入	△120
有形固定資産の取得による支出	△625
その他	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△803
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の借入と返済	△576
配当金の支払額	△478
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,054

	前年同四半期 (平成20年4月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△6
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△362
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	5,163
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	4,800

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年5月1日 至 平成20年1月31日）

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年5月1日 至 平成20年1月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年5月1日 至 平成20年1月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。